

かすややかたあと
糟屋館跡（秋山南地区）

伊勢原市No.74

- 調査期間** 2015年5月1日～継続中
- 所在地** 伊勢原市上粕屋
- 時代** 近世、中世、奈良・平安、古墳、縄文
- 調査原因** 国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所による一般国道246号（厚木秦野道路）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 遺跡位置** 小田急小田原線伊勢原駅から北西約3kmにある台地上と東側に位置する谷戸平坦部に立地する。



主な調査成果

現在、発掘調査は台地東側の谷戸平坦部で実施しています。近世の遺構としては、溝状遺構、畝状遺構、土坑などが見つかっており、調査区の中央部分から南東側に分布する傾向がみられます。溝状遺構は北東から南西方向に延びるものとそれに直行するものがあり、このころの耕作に関連する遺構ではないかと考えられます。

また、調査区の北東部分では中世と考えられる溝状遺構、土坑、ピットなどが集中して発見されています。これらの遺構は調査区外にも展開してゆくものと考えられます。

遺物の出土量は多くありませんが、各時代の遺物が出土しています。その中で、中世遺構面と同じ面で発見された土坑内からは古墳時代と考えられる高坏が出土しました。脚部は残っておらず、坏部のみが見つっています。調査区周辺で古墳時代の遺構や遺物が存在するものと推測されます。



中・近世面全景（北西から）



土坑内遺物出土状況（南東から）